



原田 健志

一、能勢の観光をとりまく現状について 二、能勢町での有機農業の推進への取り組みについて

問 観光情報誌でアピールされたい事は

答 観光情報誌においては、女性や若者をターゲットにオシャレな町、能勢という事を一つのコンセプトとしてアピールできればと考えている。能勢を訪れる人々は、能勢に訪れる価値があるから来訪されるものであると考えて、観光が本町の活性化になるという事を強く訴え、住民の皆様にもご理解が得られるよう努める。

問 町として、どのような観光の町にしていく事が望ましいと考えておられるか

答 人が仕掛けた観光地は魅力のない町であると思う、だから『能勢は観光の町である、ぜひ来て欲しい』というのではなく、能勢の場合は自然を有した地域でひそかな癒しの場所・思い出の場所として、自然と人が来てもらえる本当にオシャレな町である

ることが望ましいと思う。**問** 有機農業の推進への取り組みについて

答 有機農業について、本町としても全国的にまだ取り組みの少ない有機農業を推進、普及する為に、農業者や消費者及び関係機関の理解と協力を得ながら、取り組みを進めていく事が肝要と考えている。今後、大阪府やJAなどと勉強会等々を立ち上げ、協調・連携して、有機農業をはじめとする本町の農業のあり方について検討を重ねていきたいと考えている。

問 能勢において環境の面からも有機農業へ積極的に取り組む考えは

答 有機農業は、能勢の農業にとってアピールできる大きな要素ではあると思う。有機農業の里として確立していく事は大事なことだと思いが、なにより作っていく農家の気持ちが大変であり、そ

の為に本町としては国の許認可等、必要な事については協力を惜しまない。推進に向けた、啓発的な活動について協議している。

問 堆肥の循環等町で取り組み考えはあるか

答 町支援の堆肥循環システム確立は厳しい。エコ農産物との調整もあり有機農業の推進の仕方について府農業普及センター・JA等と協議・検討しているところである。



一般質問



岡本 ひとし

一、将来展望が見出せる施策について 二、戸籍等の本人通知について

一、将来展望が見出せる施策について

問 バイオマスエネルギーについて基本的な考えを伺う。

答 現在、環境対策の取り組みとして、廃棄物の減量化、分別の徹底による環境負荷の軽減に取り組んでいます。バイオマスについても将来を見据え注視している。

問 バイオマス燃料についての認識を伺う。

答 地球環境負担に軽減される有効な施策と思っ

り組める状況になれば、協力していきたい。大いに期待している。

問 本町でのバイオマスについての計画を伺う。

答 事業に取り組んでいこうとする団体があるように認識している。

問 12月議会以降の検討について伺う。

答 6月1日より大阪府狭山市が本人通知制度を導入しました。今後については、近隣の動向状況を見て、判断していきます。

問 町内での検討状況について伺う。

答 情報収集の段階である。町長の認識について伺う。

